



奈良県感染症情報

令和元年 第 45 週(11 月 4 日～ 11 月 10 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 病原体(ウイルス)検出情報(10 月)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	2.91	(4.44)	➡	➡	➡	↗
2	伝染性紅斑	1.00	(0.71)	↑	↗	↑	↑↑
3	RS ウイルス感染症	0.94	(1.56)	↓	↓	↓	↑
4	A群溶連菌咽頭炎	0.91	(1.21)	↘	↓	➡	↘
5	インフルエンザ	0.56	(0.35)	↑	↑↑	↑↑	↗

発生状況: **大流行** **流行** やや流行 少し流行 散発 (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 ↑↑急増、↑増加、↗やや増加、➡横ばい、↘やや減少、↓減少

◆ 県内概況 ◆

伝染性紅斑の報告数が例年に比べ多くなっています。症状は、10～20 日の潜伏期間後に頬に現れる紅い発疹で、続いて手・足に網目状と表現される発疹がみられます。発疹が出現する7～10 日前に風邪様症状が見られることが多く、この時期に感染力(ヒトにうつす力)が強くなっています。発疹の出現後はウイルスの排泄はほとんどなくなり感染力もほぼ消失しています。そのため、患者との接触を避けることでの予防は難しい感染症です。患者の咳やくしゃみにより飛び散った唾液や鼻水を吸い込んで感染するので、風邪様症状のヒトとの接触を避け、手洗い・うがいなどの基本的な感染予防対策を励行することが大切です。

インフルエンザの報告数がほぼ全ての保健所で増加しました。子どもでは急性脳症、免疫力の低下した高齢者では肺炎を伴うなど重症化することがあります。マスク・手洗い、咳エチケットなどの対策を心がけましょう。

◆ 病原体(ウイルス)検出情報(令和元年 10 月) ◆

* ウイルス分離同日での集計結果

検出病原体	北部	中部	南部	その他	臨床診断名
RS		3			気管支炎(1) RS ウイルス感染症・肺炎(1)、肺炎(1)
アデノ 2		1			感染性胃腸炎(1)
アデノ 40/41		2			感染性胃腸炎(1)、アデノ腸炎(1)
コクサッキーA群 6		1			喘息様気管支炎(1)
エコー 30		1			無菌性髄膜炎(1)
パラインフルエンザ 3		1			細気管支炎(1)
サポ GII		1			感染性胃腸炎(1)
ライノ		2			突発性発疹疑い(1)、感染性胃腸炎(1)
ライノ A 2					鼻咽頭炎(2)
ライノ B 1					気管支炎(1)
ライノ C 2					伝染性紅斑(1)、喘息様気管支炎(1)
ヒトパレコ 3		1			感染性胃腸炎(1)
ヒトヘルペス 6B 1	1	1			突発性発疹疑い(1)、発疹性疾患(1)

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 1 年 第 45 週 11 月 4 日 ~ 10 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ	31 (0.56)	7 (0.50)	7 (0.50)	3 (0.27)	6 (0.60)	1 (0.50)	7 (1.75)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	32 (0.94)	10 (1.11)	5 (0.56)	6 (0.86)	8 (1.33)		3 (1.50)	
咽頭結膜熱	9 (0.26)	2 (0.22)		4 (0.57)	3 (0.50)			
A群溶連菌咽頭炎	31 (0.91)	3 (0.33)	3 (0.33)	8 (1.14)	16 (2.67)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	99 (2.91)	21 (2.33)	22 (2.44)	16 (2.29)	35 (5.83)	2 (2.00)	3 (1.50)	
水痘	7 (0.21)		3 (0.33)	4 (0.57)				
手足口病	13 (0.38)	4 (0.44)	3 (0.33)	2 (0.29)	1 (0.17)		3 (1.50)	
伝染性紅斑	34 (1.00)	9 (1.00)	11 (1.22)	10 (1.43)	2 (0.33)	1 (1.00)	1 (0.50)	
突発性発しん	8 (0.24)	1 (0.11)	2 (0.22)	2 (0.29)	3 (0.50)			
ヘルパンギーナ	5 (0.15)	1 (0.11)	2 (0.22)	1 (0.14)	1 (0.17)			
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)					
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)	1 (0.33)		1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	4 (0.67)				4 (4.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核9件(奈良市2、郡山4、中和3)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(中和1)
4類感染症	
5類感染症	ウイルス性肝炎(中和1) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2件(中和1、吉野1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(奈良市1) 後天性免疫不全症候群1件(中和1)

❖ 第45週のトピックス ❖

◆インフルエンザの感染を防ぐポイント「手洗い」「マスク着用」「咳(せき)エチケット」
<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/200909/6.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男			1	1	1	1		2		1	1	3	3			1					15	5728
	女			1	1	2	1		1	2		6	2									16	5939
RSウイルス感染症	男	1	2	6	1	1	3															14	976
	女	3	3	5	2	4	1															18	864
咽頭結膜熱	男			2					1													8	423
	女			4					1													1	295
A群溶連菌咽頭炎	男			1		2	2	4	4	3	3		1									20	1425
	女				2		2		3	1		1	2									11	1099
感染性胃腸炎	男			6	7	11	5	5	3	4	2	1	3									51	3879
	女	1	3	5	7	5	2	3	5	1	1	6	8									48	3548
水痘	男			1			1					1										3	203
	女			1	1			1				1										4	144
手足口病	男		3	2	1	2	1	1	1			1										12	1684
	女								1													1	1425
伝染性紅斑	男				1	3	3	2	4					2								15	326
	女				1	3	5	4	1	3		2										19	299
突発性発しん	男			1																		1	326
	女		4	2	1																	7	253
ヘルパンギーナ	男			1	1							1										3	428
	女				1		1															2	400
流行性耳下腺炎	男								1													1	41
	女																						40
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男																						137
	女																	1			1	2	127
細菌性髄膜炎	男																						9
	女																						6
無菌性髄膜炎	男																						12
	女																						9
マイコプラズマ肺炎	男				1																	1	31
	女				2																	3	33
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						46
	女																						35

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

